

# がん化学療法看護認定看護師 の役割とは？

がん化学療法看護認定看護師

原田由美

青砥由美子

# ～がん化学療法看護認定看護師紹介～



原田 由美

2012年にがん化学療法看護認定看護師の資格を取得しました。現在は病棟に所属しています。

がん化学療法を受けられる患者様が安心して安全に治療を受けていただけることをモットーに、投与時の方法やシステムの見直しを行ったり、他の看護師に指導を行っています。

また、様々な副作用が出現するため、少しでも軽減できるようにお話をさせてもらっています。

治療に対して様々な不安や疑問を少しでも減らすことが出来るように、お手伝いさせていただきたいと思っています。

# ～がん化学療法看護認定看護師紹介～



青砥 由美子

2010年にがん化学療法看護認定看護師資格を取得しました。

現在は外来で化学療法を行う患者様を中心に副作用指導、点滴管理などを行っています。患者様が相談しやすい雰囲気作り、安心して治療が受けられる環境を作るように努めています。抗がん剤治療は副作用や医療費など患者様への負担も大きいです。一人ひとりの問題解決に向けて一緒に考えていけるよう、お手伝いさせていただきたいと思っています。

# 私達にはこんな役割があります

患者様や看護師から化学療法についての相談を受けています。

相談

実践

患者様が安心して治療が受けられるように細心の注意を払って観察しています。

指導

看護師に化学療法についての勉強会などを行っています。

# ここで治療を行っています（外来）

- 外来で化学療法を行うために平成18年から専用の部屋が開設されています。
- 現在は胃癌や大腸癌などの消化器のがん治療を行うことが多いです。
- がん化学療法看護認定看護師以外にも、化学療法の知識を持つ看護師が患者様の治療を行っています。



外来治療室

5月より治療室が新しく移転しました。テレビの設置や室内にトイレもでき長時間の点滴治療でも快適に過ごせるようになっています。

# 入院でも多くの治療を行っています

入院治療の特徴には次のようなものがあります。

- 初めて化学療法を行う患者様
- 長時間(24時間以上)の治療が必要で通院では出来ない患者様
- 副作用管理のため入院が必要な患者様 などです

初めての治療、長時間の治療で不安も多いと思いますが、認定看護師をはじめ、知識を持ったスタッフが対応しますので安心して治療を受けてください。

# 実際にこんな活動を行っています

- 患者様が安全・安楽に治療を受けていただくように、治療中も血圧測定を行ったり、声掛けを行い異常の早期発見に努めています。

副作用はないか、点滴の速度は適切か定期的に観察を行います。そのため異常の早期発見ができ、安心して治療を受けていただけます。



治療中の患者様

# 実際にこんな活動を行っています

- 化学療法を受ける患者様が、自宅で副作用の予防や自己管理ができるように情報提供や副作用の指導を行っています。



作成したパンフレットや既存のパンフレットを用いて副作用の説明を行っています。



ウィッグなどの展示、説明も行っています。



# 実際にこんな活動を行っています

	様				療法			
	<input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 自宅							
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
体重	kg							
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
皮膚の変化	無・有							
かゆみ	無・有							
注射部位の痛み	無・有							
吐き気	無・有							
嘔吐	無・有							
食欲不振	無・有							
味覚の変化	無・有							
口内炎	無・有							
脱毛	無・有							
下痢(回数)	回	回	回	回	回	回	回	回
便秘	無・有							
だるさ	無・有							
しびれ	無・有							
むくみ	無・有							
体の								無・有
患者様の疑問にお答えしたり、副作用についてのアドバイスを医師が記入します。								
・先生からのアドバイス								
・看護師からの言葉								

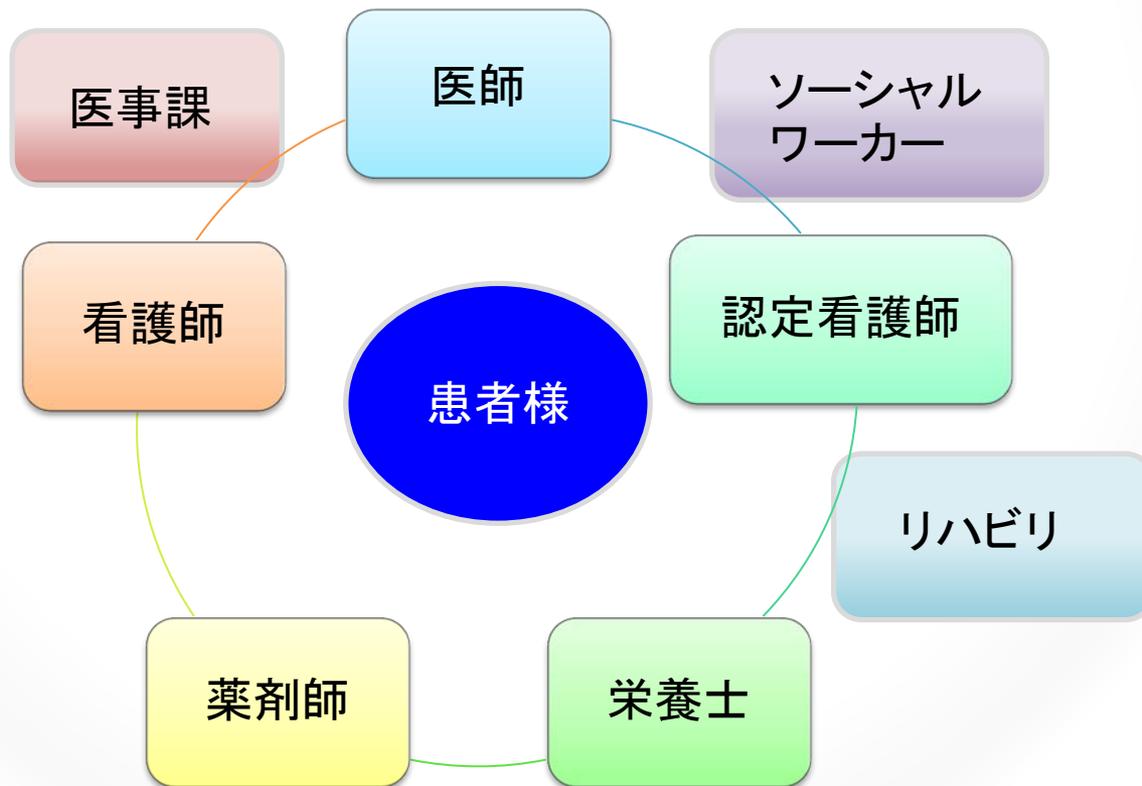
患者様には自宅で副作用の観察を行ってもらうように独自に作成したチェックリストを記入してもらっています

患者様と医療者の交換日記のようなチェックリストです

看護師からも生活上の注意点や副作用についてのアドバイスを記入します。

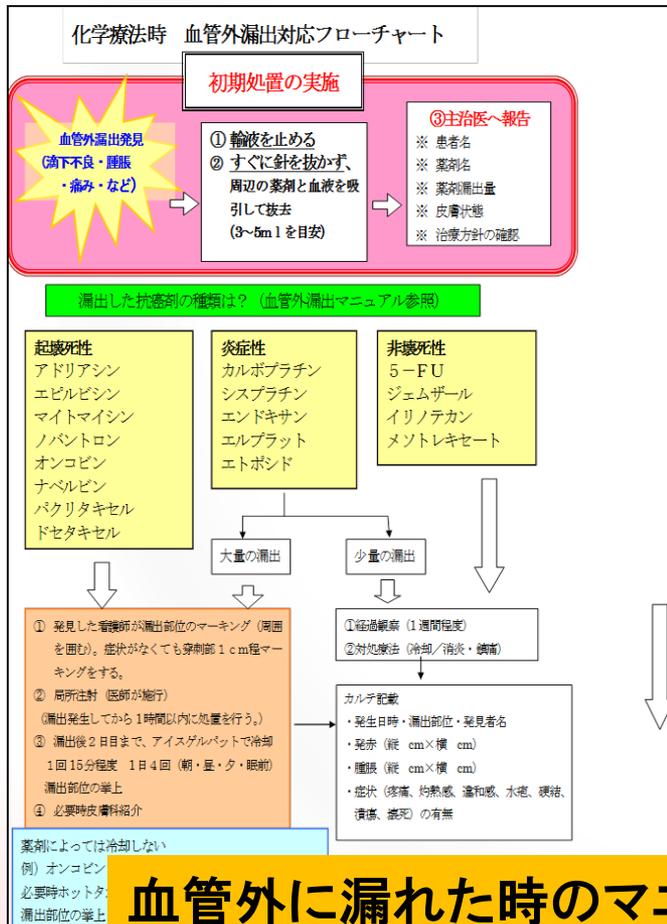
# 実際にこんな活動を行っています

患者様が治療中、副作用や食事、医療費などで困ったときは、適切な職種に介入を依頼し患者様をサポートできるように連携を図っています。



# 実際にこんな活動を行っています

- 院内のスタッフに向けた勉強会や化学療法のマニュアルを作成しています(下は作成したマニュアルの一部です。)



血管外に漏れた時のマニュアル



抗がん剤がこぼれた時の対処方法

# このようなケアを行っています。

・Aさん。治療による副作用で爪の周囲に炎症が起きました。テーピングの方法や爪の切り方、お薬の塗り方などを説明し、来院のたびに確認を行いました。継続してケアを行うことで悪化がなく治療を継続されています。

・Bさん。余命を考え、家の整理をしたいが副作用が強く何もできないと言われました。患者様と話し合いを行い、Bさんの想いを主治医に伝えました。Bさんは治療を中止し残された時間を家族と過ごしたり、自分のやりたいことに使われました。患者様からは「あの時、色々な話を聞いてくれて、アドバイスをもらい良かった」とお電話を頂きました。

化学療法を行う時は、副作用、予後、仕事のことなどいろいろな心配があると思います。私達、認定看護師は患者様が安全に安心して治療を受けていただけるように、お力添えできればと思っています。困ったこと、疑問などありましたらお気軽にご相談ください。